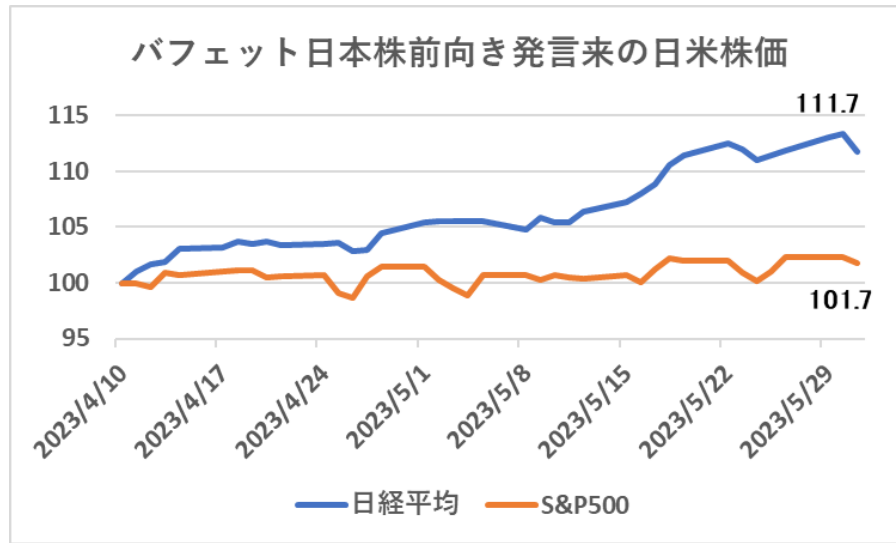


## ATTENTION

### バフェットの日本株前向き発言の効果はすさまじい



バフェットが来日し、日本株への積極姿勢を示してからの上昇は、すさまじいものがあります。実際に、バフェットが来日した4月10日以来5月末まで、日経平均は11.7%の上昇、それに対して米国S&P500は1.7%の上昇にとどまっています。10%以上も開きがあります。5月19日には、日経平均は33年ぶりの高値を更新、外人は5月26日まで9週連続の買い越しで、買い越し額は4兆円になったとのこと。これまで、日本の上場企業の半分以上がPBR(株価純資産倍率)1倍以下で、要は株を買って会社が解散すれば、株を買った人が儲かる状態になっていたのです。その1倍を超える改善を東証が上場企業に求めているのですが、遅々として進まず、ダラダラとした動きが続いていたのが、様変わりです。あらためて、バフェット発言の影響力の強さを感じます。日本の5大商社株を、バフェットは7.4%ずつ保有していて、9.9%まで買い増す意向を示しています。そして2019年来の投資した商社株のパフォーマンスは良好で、株価は大幅上昇、配当は70%以上増えたと喜んでます。バフェットの期待を裏切らずに、ぜひ投資された商社は一段の奮起を期待したいものです。また、他の日本企業もバフェットの投資先として、関心が向くような経営をしてもらいたいものです。

## COLUMN

### お金を人はどう見るか、使うのか

おもしろいお金に対する見方が、米国の書籍にありましたので、紹介しましょう。著者は、WSJのコラムニストで、ベストセラー「お金の心理」の著者モーガン・ハウゼル。この書によれば、多くの人がお金を使うとき、同じような面白い癖があるということです。

**育ちが、お金の使い方に影響する。**

貧乏に育った人ほど、お金があることを見せたがる。高級車や邸宅は、彼らの価値や成功を表すと思う。

**お金をたくさん使うことは必ずしも幸せにつながらない**

お金をたくさん使えば幸せになると思っている人がたくさん使っても幸せに感じないと、もっと使い、しまいに破産する運命をたどる。

**節約しすぎると、貯まったお金を眺めながら、人生を終わる。**

お金の心配がなくなったと思えない人は、心配しているのと同じ。

**お金を使う意味は、使う人の効用と周りへの発信にある**

豪華な食事や海外旅行は自分の楽しみとともに、それを知った人がどう思うか、反応を見たい。

**お金をもっていることが、賞賛と尊敬をもたらすと勘違いする**

真の賞賛と尊敬は、相手に真摯で、親切で、慎み深い人に集まる。

**自らのお金の成功度を測るのに、周囲と相対比較する。**

これに囚われすぎてもっと上に行こうとたくさん使くと、借金がかさみ、不幸になる。

ここには肝に銘じたいこと、気づきもあります。

The Art and Science of Spending Money by Morgan Housel

## MARKET

(5月末)

(4月末比)

日経平均

30,887.88円 ➔ +2,031.44円  
(+7.04%)

NYダウ

32,908.27ドル ➔ -1,189.89ドル  
(-3.49%)

米ドル

139.35円 ➔ +2.95円  
(+2.16%)

## 私の書棚より

いついかなる時に誰と出会うといいように、私は日頃の勉強を怠らなかつた。その有効な手段とは何か。笑顔である。

私がかれほどまでに笑顔のことをいうのは、そのおかげでどれだけ人との出会いに恵まれたか、はかり知れないからである。

庭園日本一 足立美術館をつくった男 足立全康

## バフェットとマンガーを見ていて思うこと

今年も、バフェットとマンガーが主宰する、バークシャー・ハサウェイの株主総会に行ってきました。2回のオンライン総会を含め、2014年来10回目の参加となりました。いまでも、行ってきた後の心地よい感慨を感じます。この株主総会は、バフェットが1969年にウッドストックで40万人を集めたロックフェスティバルになぞらえて「ウッドストック・オブ・キャピタリスト(資本家)」と呼んでいます。まさに良識の投資家が集まるフェスティバルといってよいでしょう。

米国中西部のネブラスカ州オマハに、世界中から4万人が集まるのです。今年の総会は、58回目の総会。最初の総会は、街のカフェテリアに家族、親戚、友人に来てもらった10人程度の総会だったそうです。今では老いも若きも、世界中から集まります。株主総会の質問者の中には、13歳の女の子がいました。その子はなんと、今年6回目の参加とのこと！

この総会を誰より楽しみにしているのが、ほかならぬバフェット。バフェットの個人株主を思う気持ちは、家族のようなものです。バフェットは個人株主を「自分の血液」としているほどです。これだから、私たちも、バフェットやマンガーを大変近くに感じるのです。

あらためて総会の映像を見てみると、二人の頭脳の明晰さ、タフさがわかります。バフェット92歳、マンガー99歳、この二人が午前、午後、計5時間15分にわたって、

ぶっつけ本番の50以上の質問に答えました。タフな質問がたくさんあるのですが、それに対する答えはどれも丁寧、真摯、大変深みがある言葉です。ただ単に金持ちではないのです。逆に言えば、こういう人物だからこそ、ここまで富が積みあがったのです。一攫千金で得たわけではなく、毎日、誠実に、社会に役に立つように、正直に続けてきたから、累々と積みあがってきたといえるでしょう。こういう富は泡と消えません。

この二人を見ていて、92歳、99歳が並んでいるとは、とても思えません。こちらは二人の年齢など、すっかり忘れて聞き入りますが、改めて見れば、大変な高齢なのです。おそらく数万人いる聴衆の中で、99歳のマンガーを超える年齢の人はいないでしょう。では、なぜここまで長生きできるのか。この二人から大いに言えることは、次の通りです。

1. 正直、清廉、潔癖なのでストレスがなく、清々としている
2. 知識欲旺盛で四六時中読書、勉強。よってボケない
3. 仕事が好き
4. 規則正しい生活を送る
5. 酒、たばこは手を付けない
6. 転ばない

人生100年時代。まさにその先頭を行っているのが、バフェットとマンガーです。来年はマンガー100歳で迎える株主総会。この二人を見る株主総会には、自然に足が向きます。

## まかせて安心、資産運用のホームドクター

- 大切なお金を間違いない方法で運用しているのか、心配になることはありませんか。
- 退職後のセカンドライフを、お金の心配なく、ゆとりを持ってお過ごしですか。
- 仕事が忙しくて、なかなか運用まで手が回らないということはありませんか。
- 銀行や証券会社が勧めるままに、株や投資信託を購入していませんか。

金融商品の中身や手数料がどうなっているか、きちんと把握していますか。

びとうファイナンシャルサービスは、金融機関から完全独立のFP・資産運用アドバイザーです。その強みを生かし、お客様に、客観的で、公正・中立なアドバイスを提供しています。手数料が高く売りやすい商品をお客様に売っていただくのではなく、お客様にもっとも適した金融商品やお客様にベストのアドバイスを提供しています。

びとうファイナンシャルサービスは、お客様の目標や夢の実現のため、40年を超える長い経験と深い専門知識、高い倫理観をもとに、お客様の利益のみに目を向けたサービスを提供しています。たとえるなら、多くのお客様の人生という航海で、無事に目的地に到着する大型客船であり、いつもお客様の資産運用という面で健康管理をするホームドクターです。



びとうファイナンシャルサービス  
代表 尾藤 峰男  
公認投資助言者(RIA)

びとうファイナンシャルサービス 公式HP

<http://www.bfsc.jp>

あなたの資産運用を成功に導くメルマガ！

お申し込みは <http://www.bfsc.jp/mailmagazine/>

発行者：びとうファイナンシャルサービス  
代表取締役 尾藤峰男

電話：03-6721-8386  
携帯：070-5567-3311 電子メール：info@bfsc.jp